

## 地域医療福祉連携室について

地域医療福祉連携室は、平成17年4月に地域連携室と医療相談室が統合され「地域医療福祉連携室」として改組されました。地域の医療機関の先生方には身近な病院としてご利用いただき、より充実した連携を深めることにより、患者様にとつて安心できるきめ細やかな医療を提供出来ることを目指しています。

地域医療福祉連携室(以下、連携室)では相談業務を中心に、入院の相談・他院への診察予約を取るといったことも行なっています。

連携室にはソーシャルワーカーと共に病床管理看護師とカルテを管理している診療情報管理士が在籍しています。ベッドの状況を常に確認し相談しながら、いち早く情報を集約し援助を可能にしています。

その中でもソーシャルワーカーが何を専門としているのか、ご存知ない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今回は、そのソーシャルワーカーについて紹介させて頂こうと思います。

### ソーシャルワーカーとは

ソーシャルワーカーを専門的にいうと、『ソーシャルワーク専門職は、人間の福利の増進を目指して、社会の変革を進め、人間関係における問題解



〈地域医療福祉連携室スタッフ〉林・長田・大鹿・城島・浅津・上住・中谷

### ソーシャルワーカーの役割

決を回り、人々のエンパワメントと解放を促していく。ソーシャルワーカーは人間の行動と社会システムに関する倫理を利用し、人々がその環境と相互に影響しあう接点に介入する。人権と社会正義の原理は、ソーシャルワークの拠り所とする基盤である」と定義づけられています。この文章だけでソーシャルワーカーが何をしているのか理解するには難しいのではないのでしょうか。

私たちが生活するためには、様々なことを片付けていかなくてはなりません(洗濯や掃除、電気代や水道代、家賃の支払

や買物など)。その全てが何とかができていなければならないのですが、病気になる、障害があるためになど、生活がうまく切り立ちません。そんな時に利用するのが福祉サービスであり、そのための相談窓口になるのがソーシャルワーカーです。

### どのような時に利用するのか

医療機関は病気になる時に往くところですが、病気の時は病気を以外にも気になることが出てくるのが沢山あります。

### たとえば…

障害があり自宅で生活できるか不安  
仕事ができず、生活へ不安がある

医療費の負担を軽くできないか  
福祉制度の利用について

医療費はどれくらいかかるのか  
在宅介護や訪問看護の紹介

外来の受診・入院についての不安・心配・疑問

年金・障害手帳・傷病手当金について

療養や生活上の心配、リハビリなど…



このほかにいろいろな困った出来事があるかと思えます。そのような時に、相談を持ち掛けて頂ければ、何かの役に立てるかと思えます。ただ、全てが円満に解決し皆さんの期待通りにはいかないこともあります。

また、できるだけ患者様自身が解決していけることが必要とのソーシャルワークの理想から、何でもかんでも患者様の代わりを引き受けることはしていません。私たちが出来るのは、問題解決へむけてのお手伝いと、その道中のお供をするということでしょうか。

め、どの医療機関に行っても、必ずソーシャルワーカーに相談できるとは限らないのです。そのような中でも、協和会病院では開院当初よりソーシャルワーカーを配置し、患者様中心を心がけ、満足される医療の提供と同様に、患者様の生活を視野にいれた医療を目指しています。

困った時はどうぞ上手にソーシャルワーカーを利用して下さい。ご相談内容については、守秘義務を守り患者様の不利益にならないように対応させていただきますので、ご安心いただけます。ソーシャルワーカーに相談して良かったという出会いになるように、親身になって相談をお伺いし、日々努力していきたくと考えております。(MSW 林 亜矢子)

## 職場紹介

### 医局



〈医局スタッフ〉後列…長澤・濱口・増田・岩名・北田・隅田・桃原・宮島・熊澤  
前列…中谷・直井・柿本・浅津・中村

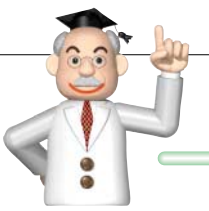
当院の内科は、増田院長を始めとする中谷、長澤、桃原各先生の経験豊富な医師で構成されています。近隣の施設などから紹介されるハイリスクな高齢患者様を積極的に受け入れ、消化器疾患・高血圧・糖尿病・感染症・呼吸器疾患・慢性腎不全など幅広い領域にわたって日常診療を行っています。

人工透析センターは、平成16年11月に開設され、現在は熊澤先生が担当されています。外来、入院を併せて平均400件/月以上の人工透析を施行しております。

整形外科は、大阪大学から派遣されており、中村、柿本、岩名、北田各先生で診療しています。現在では大阪大学整形外科のスタッフも参加して年間200件以上の人工関節置換

術(主に股関節、膝関節)をナビゲーションなどのコンピュータを用いて施行しております。救急部は、2006年6月より、日本救急医学会専門医(救急医)である濱口先生が担当しています。掛かり付けの患者様の受け入れは勿論のこと、他院で受け入れ拒否された患者様も可能な限り受け入れております。

総合診療科は、平成19年4月より開設され、直井、隅田、濱口各先生が担当しています。リハビリテーション科は浅津副院長をトップに、宮島、隅田両先生が回復期病棟を担当されており、専門的医学管理の上に立つ重装備のリハビリテーションが出来るシステム構築を目指しています。(診療部長兼整形外科部長 柿本明博)



# 今年度1回目となる**健康講座**を開催して



増田 公人 院長

今回の健康講座には、多くの方々に参加して頂き、ありがとうございました。

今後も、協和会病院や隣接するウエルハウス協和・協和訪問看護ステーションの安心ネットワークを更に充実させて、地域に貢献できるようなシステムを構築して、より安心で安全な医療を提供できるよう努力してまいります。

病院長 増田 公人

去る10月31日(土) 14時より、2階理学療法室にて平成21年度第1回目の健康講座を開催致しました。

今回のテーマは、「患者様・ご家族様が安心して在宅に帰るために」という介護についての演題を用意させて頂きました。

また、病院に隣接する協和訪問看護ステーションのご協力も得て、「介護サービスとは・・・」「病院と訪問看護ステーションとの連携による地域に根ざす手厚い介護」などについて写真やイラストも交えて講演して頂きました。

当日は、患者様・ご家族様・事業者関係者・職員も含め55名の参加者が熱心に耳を傾けておられました。

講演後、初企画として(介護について)小グループによるミーティング(ケアマネージャー・看護師・リハビリの専門スタッフを交えた)を行いました。特に今回参加して頂いた患者様・ご家族様が日頃から在宅看護について不安に感じること。疑問に感じることをお持ちであるにも関わらず、なかなか具体的に話し合える場がない。聞きたいが教えてもらう手だてが少ない。

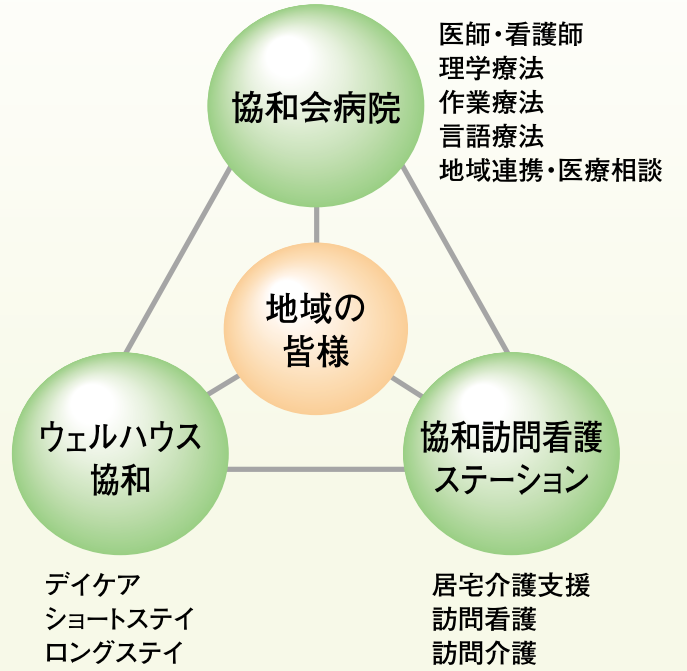
こういった貴重なご意見を頂戴し、今後も定期的に「在宅の介護サービス」をテーマにした講座を年1回～2回開催していく方針です。(当院の

教育委員会で現在検討しております)

今回の健康講座についても事前にアナウンス致しますので、多数のご参加をお待ちしております。

《教育委員会》

## —安心ネットワーク—



## 協和会病院ご案内

- 医療法人協和会 **協和会病院** 吹田市岸部北1丁目24番1号 (代)06-6339-3455
- 理事長/木曾 賢造
  - 院長/増田 公人
  - 開院年月日/1988年(S63)3月
  - 診療科目/内科、消化器科、整形外科、脳神経外科、放射線科、リウマチ科、リハビリテーション科
  - 専門外来/泌尿器科(月曜日13:00~14:45)
  - 診察時間/午前診 9:00~12:00(月~土曜日)
  - ※救急医療については、24時間お受けしております。



## 和の場

ウォーキングとは、歩くことを主体とした健康法です。心臓の強化、骨への効果、生活習慣病の予防、脳を鍛える効果、寝たきりの予防、などの効果があるとされています。平均的な日本人が1日で「摂取するカロリー」から「消費するカロリー」を引くと約300kカロリー程度。この300kカロリーを消費するために必要な歩数が1万歩といわれています(100Kcal = 30分 3000歩が目安です)。ですが、いきなり1万歩歩くというのはちょっと厳しいですので、1日5分でもいいので、自分が気持ちいいと思える距離から始めてみましょう。そして、無理をせず継続することが大切です。また、出発前には準備体操をお忘れなく。(理学療法科 高尾耕平)

## ウォーキング

## 手軽な健康法

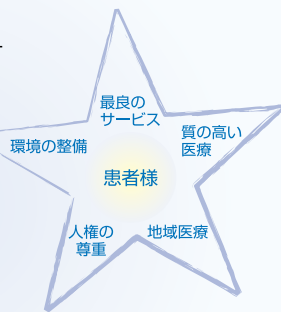


## 一知・技・心一

病院理念 専門的な知識と技術の向上を図り心をこめて安心の医療を提供します

## 基本方針

1. 「患者様中心」を常に心がけ満足される医療を提供します
1. 急性期から回復期まで、地域に求められる医療を提供します
1. 医療技術の向上につとめ専門性の高い医療を提供します
1. 人員・設備・環境を整え安心で安全な医療を提供します
1. 患者様・職員共に人権を尊重し公正な医療を提供します



医療法人 協和会 協和会病院 2006.2.1改訂



## 整形外科 中村先生の論文が国際的雑誌に掲載!

去る2009年11月5日に当院整形外科の中村宣雄先生の論文がアメリカの権威ある医学雑誌「Clinical Orthopaedics and Related Research」に掲載されました。当院で行っている人工股関節手術のうち、特にロボット手術と呼ばれるコンピュータを用いた手術の術後5年以上の良好な成績についての内容が高く評価されました。